

自社のおかず用調味料が どのように料理に使われているかを観察したい

調味料に関する行動観察インタビュー

<背景と課題>

食品メーカーB様は先日発売したおかず用調味料のネット上での評判が芳しくなく、同社の想定通りに使用されていないのではないかと気になっていました。そこで、実際に家庭内で主婦が同製品をどのように調理に使用しているのかを観察し、想定通りに使用されているかを検証、もし間違った使用をされているのであれば、パッケージ等でのコミュニケーションをどのように改善すべきかを探りたいと考えていました。



<結果>

撮影されたビデオから、多くの対象者が間違った使い方をしてることが発見されました。またオンラインインタビューでは、なぜそのような使い方になったのかを探査され、パッケージ上での使用方法の説明に問題があったことがわかりました。

<設計内容>

調理シーンのビデオ撮影とオンラインデプスインタビューを組み合わせた設計を行いました。

<プロジェクトの流れ>

対象者リクルート



調理シーンを撮影してもらうためのビデオカメラを送付



電話による対象者へのインストラクション



対象者は10日間の間に3回以上、当該製品を使って調理、そのシーンを撮影



ビデオカメラを回収



回収したビデオを視聴し、インタビューで深堀したいポイントをピックアップ



対象者とインタビュアーは撮影された動画を見ながら、オンラインインタビューを実施

<ココがポイント>

このような課題においては実際に家庭訪問を行い調理シーンを観察しインタビューをすることも考えられますが、訪問調査への協力率は低く、対象者条件が厳しく出現率が低い場合はサンプル数確保が極めて困難です。また調理シーンを見ることができるのは1回だけという限界があります。一方でオンラインを活用した行動観察インタビューでは、家庭訪問調査に対してサンプル確保がしやすく、かつ調理シーンの観察は複数回可能といったアドバンテージがあります。